

大野委員提出資料

今後、人口が減少し、生産人口と老年人口の比率が逆転していく中では、高齢者をターゲットとした施策とともに、県民全体の疾病リスクの軽減と、疾病によりもたらされる経済的損失・労働力損失の抑止を考えていくべき。

＝「予防」の重視

例えば・・・

ヘリコバクター・ピロリ菌は、胃潰瘍や十二指腸潰瘍の再発の要因とされている。また、胃の粘膜へ感染することで引きおこされる胃炎によつて、胃の粘膜は萎縮していき、炎症が長い期間持続することにより、胃がんが発症すると考えられており、胃がん患者のほとんどがピロリ菌陽性であることは明らかとされている。

そこで、特定健診や事業所健診など、血液採取を伴う既存の健診に合わせて、ヘリコバクター・ピロリ抗体測定を実施する。

【参考：ヘリコバクター・ピロリ抗体 700円（70点）】

陽性者に対する検査は、その後の精密検査やヘリコバクター・ピロリ菌の除菌治療に繋げる。

胃がんリスク検診(ABC検診)の現状 【自治体】(N=107) (6.1%)

胃がんリスク検診（ABC検診）の現状 【主要企業・組合】

